

当事者団体連絡会報告

(平成 24 年 10 月～平成 25 年 2 月)

- 開 催 平成 24 年 10 月・11 月・12 月・平成 25 年 1 月・2 月
- 内 容 1. 「障がい者の暮らしの中の問題点」として、理解者・支援者の確保について検討。
2. 相談支援事業についての当事者側からの「気づき」などの確認。

1. 障がい者の暮らしの中の問題点「理解者・支援者の確保」についての検討

- ①本年度前半で検討してきた GH・CH の法人へのアンケートからも世話人の確保が大変であるという声があった。
- ②居宅介護事業所は以前からヘルパーの不足という状況が続いている。
- ③連絡会としては、個々の障がいの特性の違いから、福祉サービスや事業所の創設は困難と考えられるが、啓蒙的な活動は可能である。
- ④次年度前半（8 月下旬頃）で「理解者・支援者の確保」を目的とした講演会を企画。

2. 相談支援事業について

- 現状
1. 電話がつながりにくい状況は相変わらずである。
 2. 当事者団体の勉強会などへ相談支援センター担当者が出席するなどの動きがみられ、連携を作る動きがあった。

今期を振り返って

(平成 22 年度～平成 24 年度)

1. 平成 22 年 8 月、当事者団体連絡会が認められたことは意義深い。
2. 3 年間で取り組んだこと
 - ア 相談支援事業についての問題などを当事者側から出す。
 - イ 各団体の活動報告を通しお互いの状況を知る
 - ウ 平成 22 年 12 月 事業所連絡会との懇談
 - エ 障がい者の暮らしの中の問題点を確認
 - オ 平成 24 年 3 月 市内の法人にグループホームについてのアンケートを実施。第 1 回協議会で集計報告、第 2 回協議会で法人への結果報告についての資料提出。
 - カ 現在、理解者・支援者の確保を目的とした講演会について検討中。